

次期大会のご案内

第66回日本神経化学学会大会のお知らせ

第66回日本神経化学学会大会を2023年7月6日(木)から8日(土)にかけて神戸国際会議場(神戸市)で開催致します。本大会は日本神経病理学会(大会長・望月秀樹先生)との初めての合同開催となります。日本神経病理学会は日本神経化学会とほぼ同時期に誕生した歴史と伝統のある学会です。神経疾患解明をテーマとした合同シンポジウムを開催するなど両学会間の交流がきっかけとなり、このたびそれぞれの学会の特色を融合させ疾患をベースとした新たな脳科学創成を期待して合同大会を開催する運びとなりました。合同大会のテーマを、“Next Neuro—分子と形態の融合の先に”とし、現在の神経化学および神経病理学研究の最前線について理解を深めたうえで、両者の融合が生み出す次世代脳科学を展望する機会としたいと考えています。

Plenary lectureとして東京大学の岩坪威博士、ジョンズホプキンス大学の澤明博士、島津製作所の田中耕一博士の3名をお招きしました。教育講演のテーマには、「脳腫瘍」、「タウオパチー」、「神経系の小胞体ストレス」の3領域を選び各分野でご活躍の先生方に教育的なご講演をお願いしています。合同企画としては、大会企画シンポジウム、ディベート形式シンポジウム、公募シンポジウム、一般口演、ポスター発表を設けています。また、初学者のために各学会の基本的な知識・技術を身に付けていただく神経化学入門コースと神経病理入門コースを企画しました。若手育成セミナーは神経病理学会の若手研究者にもご参加いただく合同開催形式をとります。神経化学会単独企画としては、理事会企画シンポジウム、優秀賞受賞者講演、優秀賞受賞者企画シンポジウム、臨床連携委員会企画シンポジウム、若手育成セミナー出身者によるシンポジウムを例年通り設けました。さらにコロナ禍の影響で中断されていたISN/JSN ジョイントシンポジウムおよびAPSN/JSN ジョイントシンポジウムを再開致します。

昨年のNeuro2022(竹居光太郎大会長)は一部のセッションを除きオンサイトで開催され停滞していた学術交流が再び活性化された素晴らしい会であったと思います。この流れを引き継ぎ本大会では完全オンサイト開催を予定しております。水際対策が大幅に緩和されたことを受け海外からも多数の研究者がご参加いただけると思います。現在プログラム委員会で大会開催の詳細を詰めているところですが、各セッションとも例年よりも発表枠を増やしてできるだけ多くの学会員の皆様にご発表いただけるようプログラム編成を工夫しています。そのうえでひとつひとつの演題に「議論を尽くす」日本神経化学会の伝統を継承し充実した中身の濃い大会にしていければと考えています。異国情緒溢れる神戸の地で、両学会員が分野、世代を超えて活発な討論ができますこと心より楽しみにしています。

第66回日本神経化学会・大会長
今泉 和則(広島大学)

第64回日本神経病理学会総会学術研究会

The 64th Annual Meeting of the Japanese Society of Neuropathology

第66回日本神経化学会大会 合同大会

The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry



Next Neuro

分子と形態の融合の先に

Beyond the fusion of molecules and morphology

会期 2023年7月6日(金)～8日(日)

会場 神戸国際会議場

一般演題募集
2022年12月予定

第64回日本神経病理学会総会学術研究会

大会長 望月 秀樹 大阪大学大学院 医学系研究科
神経内科学講座

第66回日本神経化学会大会

大会長 今泉 和則 広島大学大学院 医系科学研究科
分子細胞情報学

<https://www.c-linkage.co.jp/jsnp64-jsn66/>

【運営事務局】 株式会社コンベンションリンケージ内 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 PIAS TOWER 11F
TEL:06-6377-2188 FAX:06-6377-2075 E-mail: jsnp64-jsn66@c-linkage.co.jp